

関連項目：教育活動プラン④

異学年交流の機会を増やす

目的

本校の児童は、活発に活動する子が多い反面、十分に友達との関係を築いていけない子もいます。そこで、学年を超えて人とつながる交流を増やしていくことにしました。

内容

● 1年生を迎える会

1年生から6年生までがほぼ均等な人数で入った1グループ20名程度のなかよし班を編成し、年間を通じて活動をしていきます。1年生を迎える会では、グループ毎に、歩いてとらまる公園へ行きます。児童会を中心に、グループを単位としたゲームを行います。昼食もグループでそろって食べ、昼食後は6年生が紙芝居を読んだり、6年生が計画したゲームをしたりします。



● 八の字長縄跳び

本校では、毎週1回朝の15分間での体力づくりを実施しています。1学期はなかよし班で八の字長縄跳びを行います。1年生は怖がったり、縄に入るタイミングが分からなかったりして最初はうまく跳べません。そんな時には6年生が手をつないで一緒に跳んだり、スタートの合図をしたりして1年生を助けます。秋の運動会の児童会演技では、なかよし班対抗の長縄跳びがあります。秋の運動会に向けて、なかよし班の中では助け合って練習に取り組みました。

● サツマイモの収穫

春には、なかよし班で協力をしてサツマイモの苗植えを行います。灌水は、毎朝6年生が行います。草がたくさん茂ってくるころには、なかよし班で草ぬきを行います。秋になり収穫のときもなかよし班で収穫し、とれたサツマイモはグループで分けて持ち帰ります。今年は、収穫量が多く、収穫したイモの一部を使って6年生が調理を行い、グループで食べました。



● パンジーのプレゼント



秋になると、校区に住んでいる一人暮らしのお年寄りにパンジーのプレゼントを行います。パンジーは、学年毎に植え付けを行ったあと、各自で育てます。しっかりと根付いた頃にプレゼントをします。集団登校の班毎に、パンジーをプレゼントするお年寄りを決めます。自分が育てたパンジーにメッセージを入れ、袋に入れます。集団下校を利用して、集団登校班毎に、異学年で一緒に一人暮らしのお年寄りの家までパンジーを届けに行きます。どの家か分からなかったり、長期不在で留守だったりすることがあるため、地域の民生委員の方が一緒に行ってくれます。お年寄りからのお礼の言葉や民生委員の方とのふれあいも子どもの励みになっています。

成果

異学年交流では6年生が常に中心になります。6年生には小さい子の世話をしないといけないという気持ちが育ってきて、低学年の子への優しい声かけが増えてきました。低学年の子は上級生とのかかわりができ、上級生が、1年生の教室で一緒に遊んでいるという光景も、見られることがありました。